

越冬期調査 1. カモを中心とした個体数調査

今冬(2015 - 16年)の都内で越冬する鳥類の状況を把握するため、例年実施している調査を拡大して実施します。

(1) 調査範囲：島しょ・海上を含めた東京都内全域。

(2) 調査期間・時間帯：2016年1月9日(土)～1月17日(日)の間で1回。9時～15時を原則。

(3) 調査方法：カモ類および下記水鳥10種(※)はカウント実施、他は個体数概数

(4) 結果報告：1月末までに、メール、手紙、ファクスなどで事務局・越冬期調査係へ

※ カイツブリ・カワウ・ゴイサギ・ダイサギ・コサギ・アオサギ・バン・オオバン・ユリカモメ・カワセミ(10種)

ハクチョウ類が飛来する可能性が高くなっています。ガンやコウノトリにも注意。



最近減少気味のオシドリ(明治神宮)岩館信也氏撮影

2. 東京23区のおオタカ・ノスリー斉調査・第2回



ハシブトガラスを追うオオタカ(自然教育園)川内 博氏撮影

昨年急ぎょ実施し、25か所での生息状況は、オオタカ9羽(6か所)、ノスリ7羽(5か所)という結果が得られました。今年は調査場所を拡大して実施します。この調査のポイントは「同じ時間に・一斉に」ということで、その結果、行動範囲の大きい猛禽類の生息個体数をより正しく押さえられるということです。ぜひ、新規の場所(※)でも、積極的をお願いします。

なお、昨年はハイタカ・ツミ・ミサゴ・トビ・チュウヒ・チョウゲンボウも記録されました。調査したが「0」というのも重要です。

(1) 調査範囲：東京23区内

(2) 調査日・時間：2016年1月10日(日)〔荒天の場合は、翌11日(月・祝)〕

(3) 調査方法：事前に指定された場所で、午前10時～12時にかけて全域を探索し、オオタカ・ノスリの生息数を確認する。行動なども記録し、他の猛禽類にも注意する。

(4) 結果報告：1月20日までに、メール・手紙・ファクスなどで事務局・タカ係へ。

【昨年実施されていない調査候補地】 青山霊園、赤塚公園、赤羽自然観察園、荒川自然公園、浮間公園、大井ふ頭中央公園、大泉中央公園、尾久の原公園、清澄庭園、北の丸公園、木場公園、旧古河庭園、小石川植物園、皇居、皇居東御苑、駒沢公園、猿江恩賜公園、城北中央公園、世田谷多摩川橋、善福寺緑地公園、新江戸川公園、多摩川緑地、東京大学構内、豊島岡墓地、等々力溪谷、舎人公園、浜離宮庭園、平和の森公園、林試の森公園など。他にありましたら実施してください。

【問合せ・連絡先】 〒160-0022 新宿区新宿5-18-16 新宿伊藤ビル3階・日本野鳥の会東京・研究部

(E-mail)office@yacho-tokyo.org ・(Fax)03-5273-5142

《越冬期調査時にケガ等トラブルがあったときには、至急ご連絡ください》